2027年度ダブルディグリー・プログラム派遣学生候補者募集要項

派遣大学　ナポリ東洋大学，パリ・シテ大学，フランス国立東洋言語文化学院（INALCO），ルーヴェン大学（KU Leuven）人文学研究科 Faculty of Arts，ハンブルク大学

派遣時期　2027年9月～2028年8月（予定）

派遣人数　各大学1～2名

出願資格　以下，全ての要件を満たす学生

(1) 2027年4月1日現在，国際文化学研究科博士課程前期課程に所属していること

(2) 派遣大学の語学要件等を満たしていること

(3) 国際文化学研究科博士課程前期課程での指導（予定）教員より推薦を受けられる者

※派遣大学によっては，学士の学位を有すること等を出願資格として求める場合があります。学士の学位を取得せずに大学院へ入学した学生は，派遣大学の出願資格を満たさない場合がありますので，出願を希望する場合は，必ず事前に国際文化学研究科教務学生係へ相談してください。

語学要件等

派遣大学	語学要件等
ナポリ東洋大学	英語およびイタリア語での講義聴講，演習参加，修士論文作成に困難を伴わない程度の語学能力を有していること。論文執筆は英語でよいが、日常生活に困らないイタリア語力は必須である。（目安は英語B2、イタリア語B1程度）
パリ・シテ大学	フランス語の場合B2レベル以上，英語の場合TOEFL iBTあるいはIELTSにおいてB2レベル以上。
フランス国立東洋言語文化学院（INALCO）	フランス語の場合B2レベル以上（C1推奨），英語の場合TOEFL iBTあるいはIELTSにおいてB2以上。
ルーヴェン大学（KU Leuven）人文学研究科 Faculty of Arts	IELTSのスコアが7.5以上，あるいはオランダ語のCEFR B2レベル以上 語学要件に満たない出願希望者は，出願の可否について，担当教員に相談可とするが，最終的な受入れ可否は派遣先大学の判断による。申し出の期日：2026年12月9日(水)
ハンブルク大学	英語・ドイツ語ともにB2レベル以上に相当する高い運用能力を有していること。ハンブルク大学での修士論文の作成は英語かドイツ語で行なう。

出願書類

(1) 申請書（指定様式）

(2) 研究計画書（指定様式）

(3) 出願資格(2)を証明する外国語能力証明書

(4) 国際文化学研究科博士課程前期課程での指導（予定）教員の推薦書（署名捺印があるもの，厳封，書式自由，英語による）

(5) 入学確約書（2027年度入学予定者のみ，指定様式）

※指定様式はHPからダウンロードすること。https://web.cla.kobe-u.ac.jp/graduate/culture-g/dd.html

出願期日　**2026年12月17日（木）17:00必着**

送付先：〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1丁目2－1
神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係

・出願期間中に必着するよう，書留速達郵便など追跡可能な方法で郵送すること。

・封筒の表に「神戸大学大学院国際文化学研究科ダブルディグリー・プログラム出願書類在中」と朱書すること。

選考方法　書類審査及び面接（2027年1月に実施予定）

問合せ先　神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係 gicls-kyomugakusei@office.kobe-u.ac.jp

そ の 他　候補者に選ばれた学生は，速やかに派遣大学への出願手続きを開始してください。

なお，派遣学生の最終選考は派遣先大学が実施しますので，候補者に選ばれた場合でも，プログラムに参加できない場合もあります。

また，神戸大学国際交流危機管理マニュアルに定める海外危険情報対応基準がレベル２以上の場合，もしくはレベル１以下であっても本研究科が派遣すべきでないと判断した場合，派遣を中止します。

ダブルディグリー・プログラムについて

ダブルディグリー・プログラムは，博士課程前期課程の学生が，本研究科在籍中に派遣先大学に最低 1 年間留学し，所定の単位を修得し，派遣先大学と本研究科に修士論文を提出することによって，最短 2 年間で 2 つの学位を取得できるプログラムです。本研究科から修士（学術），派遣大学からそれぞれの学位が授与されます。（各大学紹介の項目参照）

本研究科と派遣先大学で修得した単位はそれぞれ一部互換され，両大学のカリキュラムは相互に連携しています。

留学中の授業料は，神戸大学に支払い，派遣先大学では免除されます。

※ルーヴェン大学（KU Leuven）人文学研究科 Faculty of Arts へ出願する場合は，先方の定めた検定料を支払わなければなりません。

履修プラン

研究者養成型

1 年次前期	1 年次後期	2 年次前期	2 年次後期
特定研究演習 I（必修）	派遣大学の定める要件		特定研究演習 IV（必修）
高度専門演習科目（必修）			選択科目
高度専門演習科目（必修）	※留学中に修得した単位は，15 単位を限度として本研究科前期課程の必要修得単位に算入できる（2020 年度以前の入学者は 10 単位を限度）		選択科目
高度専門演習科目（必修）			
高度専門演習科目（必修）			
高度専門演習科目（特定研究演習 II に読替）			
高度専門演習科目（特定研究演習 III に読替）			

履修要件：合計 30 単位以上
必修科目：特定研究演習科目（4 科目 8 単位以上），高度専門演習科目（8 単位以上）

キャリアアップ型

1 年次前期	1 年次後期	2 年次前期	2 年次後期
特定研究演習 I（必修）	派遣大学の定める要件		特定研究演習 II（必修）
特殊講義科目（必修）			特殊講義科目（必修）
特殊講義科目（必修）	※留学中に修得した単位は，15 単位を限度として本研究科前期課程の必要修得単位に算入できる（2020 年度以前の入学者は 10 単位を限度）		選択科目
特殊講義科目（必修）			
特殊講義科目（必修）			
特殊講義科目（必修）			
アカデミック・スキル科目（必修）			

履修要件：合計 30 単位以上
必修科目：特定研究演習科目（2 科目 4 単位以上），特殊講義科目（12 単位以上），アカデミック・スキル科目（2 単位以上）

ナポリ東洋大学（Università degli Studi di Napoli “L’Orientale”，イタリア）

◆大学紹介とプログラムの概要

ナポリ東洋大学は 1732 年に，当時中国への宣教活動を行なう目的で設立された，中国語研究機関に端を発する，ヨーロッパ最古の東洋学教育・研究機関です。現在はアジア・アフリカ・地中海地域の研究を中心に，アジア・アフリカ・地中海学部，人間社会科学部，文学言語学部の 3 学部から成り，またアジア・アフリカを中心に，日本語を含め，計 55 言語の授業が開講されるなど特色ある言語の教育を行なっており，地中海地域とアジアとの関係など，ヨーロッパ最高峰の地域研究ができる大学と言えます。

推奨される研究テーマは，国際関係，比較政治，地域研究，社会学など，主にヨーロッパと日本の比較研究や，アジア・アフリカ学などで，比較文化的視点（ヨーロッパから見た日本，日本から見たヨーロッパ等）を持つ研究が望まれます。専攻分野が限られていますので、出願にあたってはナポリ東洋大学の学部案内（アジア・アフリカ・地中海学部，人文社会科学部）の授業開講科目、教員の専門分野等を必ず確認してください。また単位互換のために神戸大学にて履修する授業も指定される場合がありますので、事前に担当教員によく相談すること。

https://www.unior.it/en/study-us/teaching-and-learning

◆授与される学位：修士（アジア・アフリカ国際関係及び政治社会制度）

◆修学内容・カリキュラムについてのお問い合わせは，林良子教授 rhayashi@kobe-u.ac.jp までお願いします。

パリ・シテ大学（Université de Paris，フランス）

◆大学紹介とプログラムの概要

パリには 15 の大学があります（いずれも国立大学）。パリ・シテ大学（旧名パリ大学，パリ・ディドロ大学）は主たるキャンパスがパリのセーヌ川河畔のグラン・ムーランに置かれ，医学，理学，人文学，歴史学を含めパリでは数少ない総合大学となっています。学生数は 25000 人を超え，人文学関係では，文学，文化学，歴史学，言語学，社会学，東アジア地域研究などに関して古くから定評を得ており，国際的に名の知られた教授も数多く活躍しています。

歴史・文明・遺産専攻は，時代・地域を問わず広範な研究領域をカバーし，歴史学を軸に社会学や文化学や国際関係論などとの学際的研究も盛んに行われており，また修士課程における教育においては英語での授業が数多く提供され，ヨーロッパ諸国やアジアなど世界から多くの優秀な留学生を迎え入れているほか，フランスとしての大学の国際競争力を一層引き上げる施策の下で，2000 年代からは隣接するグランゼコールの国立東洋言語文化学院（INALCO）との全学的な研究・教育協力も進んでおり，世界水準での研究・教育がグローバルに推進されています。

本 DD プログラムは，神戸大学大学院国際文化学研究科とパリ・シテ大学歴史・文明・遺産専攻（以下，パリ・シテ大。）との学術交流を通じて，国際文化学研究をリードする傑出した専門的人材の養成のための協働教育プログラムを構築することを目的としています。本研究科からは，修士（学術）が，パリ・シテ大からは，歴史学分野の修士を取得できることを基本としています。

◆授与される学位：修士（歴史・文明・遺産）

◆修学内容・カリキュラムについてのお問い合わせは，齋藤剛教授 t-saito@people.kobe-u.ac.jp までお願いします。

フランス国立東洋言語文化学院（INALCO: Institut national des langues et civilisations orientales），フランス）

◆大学紹介とプログラムの概要

フランス国立東洋言語文化学院は、世界中の言語・文化の専門研究・教育を担うグランゼコール（一般に大学より権威の高い高等教育機関）として 1795 年に設置され、アジア、アフリカ、オセアニアからロシア・東欧圏まで含む言語圏を対象に学際的な研究・教育を行っています。日本を含むアジア研究においては、フランスはもとより、EU 圏において最も権威のある研究・教育機関の評価を得て、世界レベルでの研究・教育がなされています。

本研究科からの学生は、INALCO では学生の専門分野に応じて、言語学を主たるディシプリンに人文学系の関係科目を集中的に履修する、あるいは国際関係論を主たるディシプリンに社会科学系の関係科目を集中的に履修することで、この修士学位を取得することが想定されています。

隣接するパリ大学とは、アジア研究専攻の一部科目での相互乗り入れも行われ、教育・研究での交流も盛んです。

◆授与される学位：人文社会科学修士（言語・文学・社会専攻）（Master « Langues, cultures et sociétés du monde » Mention « Langues, littératures, civilisations étrangères et régionales »）

◆修学内容・カリキュラムについてのお問い合わせは，齋藤剛教授 t-saito@people.kobe-u.ac.jp までお願いします。

ルーヴェン大学（KU Leuven，ベルギー）

◆大学紹介とプログラムの概要

ルーヴェン大学（KU Leuven）は 1425 年に設立された，ベルギーで最も伝統のある，最大規模の総合大学です。ヨーロッパでも最古の大学の一つで，現在は EU の中心としても先導的な役割を果たし，学際的・国際的な研究教育を行っています。1968 年に言語対立と地域運動の高まりに伴って，フランス語系教職員はフランス語圏地域に新設されたルーヴァン・カトリック大学（UC Louvain）に移り，旧来の大学はオランダ語系となりました。ルーヴェン大学の組織は現在，大きく人文・社会科学，科学・工学・技術，生物医学の３つの学問領域グループに分けられています。１）人文・社会科学グループには神学部，法学部，経済・ビジネス学部，人文学部等の Faculty（大学院・学部を含む）や研究センターなどの部局，２）科学・工学・技術グループには建築学部，工学部，生物学，物理学，コンピューターサイエンス学部等の部局，３）生物医学グループには医学部，薬学部や医学系諸学科，研究センター等の部局があります。学生総数は 68000 人を超え，その約 4 分の 1 を留学生が占めています。

また，2002 年設立の欧州研究重点大学同盟(League of European Research Universities)に加盟し，高い学術レベルを持っています。大学ランキングは，ベルギーでは１位，ヨーロッパでは 20〜40 位と言われています。学術交流も盛んで外国大学との協定も数多くあります。修士課程の授業の多くは基本的に英語で行われます。

同学における人文学研究科・学部（Faculty of Arts）は，高水準の日本学科を有しており，また EU 研究，文化研究においてもオランダ語だけでなく英語による授業を多く提供し，ヨーロッパを初め世界各国から優秀な学生を集めています。

本 DD プログラムは，神戸大学大学院国際文化学研究科とルーヴェン大学（KU Leuven）人文学研究科双方の大学院の修士課程における学生を対象として，先方の大学院との単位の相互認定により，一定の期間中に所定の修了要件を満たした場合，両大学の学位を取得できる制度です。すなわち，２年以内に，本研究科からは，修士（学術）が，KU Leuven 人文学研究科からは，人文学修士課程において基本的に授業及び論文執筆を英語で行うことのできる３つの修士号，すなわち

Master of Cultural Studies, Master of Linguistics and Literature: English, Master of Western Literature のいずれかを取得できることを基本としています。KU Leuven の修士の学位を取得するには，1 年以上 KU Leuven に在籍し，最低 42 単位を修得し，かつ必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

◆授与される学位

人文学研究科：文化学修士（Master of Cultural Studies）英語英文学修士（Master of Linguistics and Literature: English,）西欧文学修士（Master of Western Literature）

◆修学内容・カリキュラムについてのお問い合わせは，中條健志講師 takeshijo@people.kobe-u.ac.jp までお願いします。

ハンブルク大学（Universität Hamburg，ドイツ）

◆大学紹介とプログラムの概要

1919 年に創立されたハンブルク大学は，ベルリンに次ぐドイツ第二の都市，ハンブルクの中心に位置し，約 42000 名の学生，約 680 名の教授が在籍する，ドイツ国内で 5 番目に規模の大きな総合大学です。現在は，法学部，経済・社会学部，医学部，教育学部，人文学部，数学・情報・自然科学部，心理・運動学部，経営学部の 8 つの学部からなり，特に気象学，物質科学，言語教育学，脳科学，ガバナンス，教育学，感染学，生理学等の分野での国内の研究拠点として評価されています。

日本学科のあるアジア・アフリカ研究所は，人文学部に属し，学科は 1914 年に創立され，100 年以上の歴史を持ち，日本研究機関としてはドイツ最古のものです。日本学科は，文学・文化学的研究，政治・社会学的研究の二本の柱によって，国際的にも高水準の教育が行われています。

本 DD プログラムは，双方の大学院の修士課程における学生を対象として，先方の大学院との単位の相互認定により，一定の期間中に所定の修了要件を満たした場合，両大学の学位を取得できる制度です。すなわち，2 年以内に，本研究科からは，修士（学術）が，ハンブルク大からは，日本学専攻課程において Master of Arts を取得できることを基本としています。ハンブルク大の修士の学位を取得するには，1 年以上ハンブルク大に在籍し，最低 120 単位（ECTS 単位）を修得することが必要であり，かつ必要な研究指導を受けた上，修士論文（30 ECTS 単位相当）の審査に合格しなければなりません。

◆授与される学位：学術修士

修士論文のテーマは日本学や比較文化に関連したテーマとなります。ハンブルク大学日本学科の HP を良く読み、スタッフの専門領域や授業内容についてよく理解したうえで応募してください。
https://www.uni-hamburg.de/campuscenter/studienangebot/studiengang.html?1184251887

学位取得にあたっては、綿密な研究テーマの事前打ち合わせと、自身での入学手続きが必要となるため、高いドイツ語、英語の能力が求められます。できればドイツの大学にすでに留学経験のある学生の応募が望ましいと考えられます。

◆修学内容・カリキュラムについてのお問い合わせは，林良子教授 rhayashi@kobe-u.ac.jp までお願いします。